

## 新型コロナウイルス感染症に係る発生状況等について

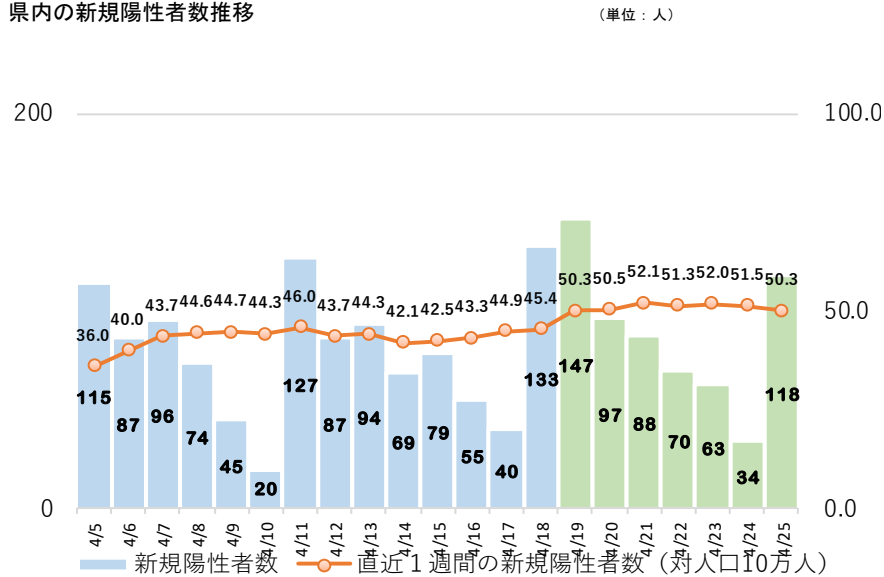
### 1 岩手県内の患者の発生状況等

#### (1) 県内の患者の入退院等の状況

4月25日 12時時点				
累計 患者数	病床 使用数	重症者数	宿泊 療養者数	死亡者 数
236,633人 (+118)	31人 (▲4)	1人 (0)	4人 (0)	622人 (+1)

( ) は前日からの増減数

#### (2) 県内の新規陽性者数推移



#### (3) 年代別の新規陽性者数

(単位：人)

公表日	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90歳以上	不明	合計
4/25	12	12	14	22	17	17	12	6	6	0	0	118

#### (4) 保健所管内別の新規陽性者数

保健所名	3月22日 ～ 3月28日	3月29日 ～ 4月4日	4月5日 ～ 4月11日	4月12日 ～ 4月18日	4月19日 ～ 4月25日	累計
県央	15人	29人	88人	53人	45人	27,534人
中部	30人	40人	26人	26人	57人	42,379人
奥州	25人	23人	30人	58人	52人	23,987人
一関	28人	85人	119人	61人	61人	18,393人
大船渡	29人	32人	50人	74人	69人	7,151人
釜石	28人	16人	8人	24人	9人	6,438人
宮古	20人	29人	18人	40人	68人	9,070人
久慈	7人	5人	19人	10人	6人	8,817人
二戸	9人	9人	24人	12人	15人	7,497人
盛岡市	65人	55人	98人	119人	141人	60,604人
登録センター	53人	54人	84人	80人	94人	22,681人
計	309人	377人	564人	557人	617人	234,551人

※9/27以降は届出した医療機関の所在地を管轄する保健所等ごとに集計

#### (5) 県内の行政検査件数

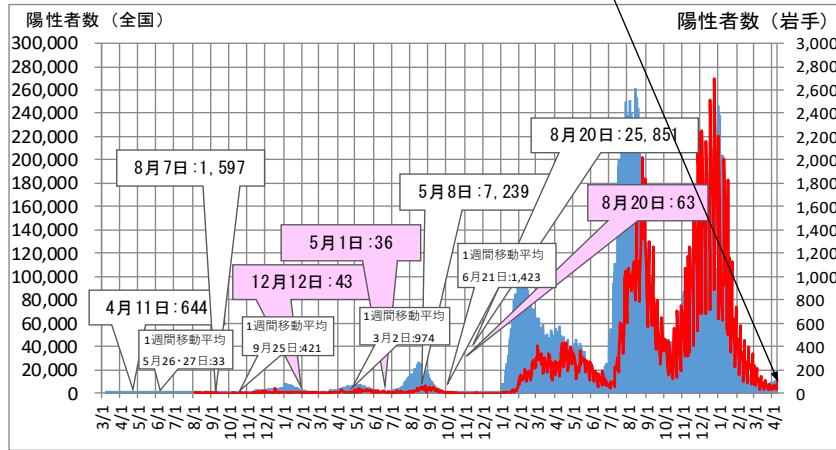
(単位：件)

検査結果判明日	4/18 (火)	4/19 (水)	4/20 (木)	4/21 (金)	4/22 (土)	4/23 (日)	4/24 (月)	累計※
環境保健 研究センター	0	0	0	0	0	0	0	40,925
民間検査機関 医療機関	1,444	533	749	890	566	255	839	694,589
合計	1,444	533	749	890	566	255	839	735,514
ウイルス検出数	147	97	88	70	63	34	118	236,633

※累計：令和2年2月13日からの累計

## 2 全国の患者の発生状況等

(1) 全国の新規陽性者数推移



(2) 東北地方の新規陽性者数

県名	3月22日 ～ 3月28日	3月29日 ～ 4月4日	4月5日 ～ 4月11日	4月12日 ～ 4月18日	4月19日 ～ 4月25日	累計
青森県	538	570	562	698	783	280,509
岩手県	309	377	564	557	617	236,633
宮城県	1,081	991	1,000	1,042	1,299	540,217
秋田県	302	396	558	560	701	201,977
山形県	571	648	735	760	777	229,806
福島県	1,163	1,111	869	1,012	1,026	408,643

(3) 全国の新規陽性者数

都道府県	患者数	長野県	196	岡山県	80
北海道	1,140	富山県	214	広島県	463
青森県	167	石川県	203	山口県	74
宮城県	218	福井県	93	徳島県	43
秋田県	188	愛知県	644	香川県	83
山形県	158	岐阜県	339	愛媛県	148
福島県	202	静岡県	152	高知県	31
東京都	1,909	三重県	36	福岡県	380
神奈川県	829	大阪府	946	佐賀県	44
埼玉県	694	兵庫県	290	長崎県	82
千葉県	483	京都府	240	熊本県	120
茨城県	50	滋賀県	137	大分県	78
栃木県	174	奈良県	157	宮崎県	87
群馬県	167	和歌山県	53	鹿児島県	90
山梨県	81	島根県	38	沖縄県	297
新潟県	390	鳥取県	39	岩手県	118

(4) 全国の直近1週間の新規陽性者数(対人口10万人): 4月19日～4月25日



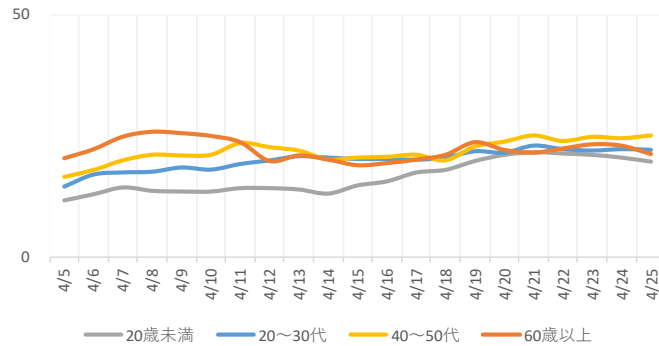
都道府県	10万人あたり 陽性者数	1週間前との増減	奈良県	61.3	↗	11.8	和歌山県	42.7	↘	△ 2.5	
富山県	91.7	↗	38.5	宮城県	56.3	↗	11.1	愛知県	42.0	↗	5.1
沖縄県	87.9	↗	19.2	大阪府	56.1	↗	9.6	三重県	41.1	↗	4.5
北海道	87.3	↗	22.7	福島県	55.6	↗	0.8	静岡県	39.3	↗	7.7
石川県	86.9	↗	13.1	香川県	53.2	↘	△ 2.3	兵庫県	39.2	↗	4.9
長野県	85.4	↗	18.1	愛媛県	52.4	↗	13.7	茨城県	39.2	↗	2.1
新潟県	79.4	↗	15.8	栃木県	50.9	↗	4.8	山口県	38.7	↗	2.0
福井県	74.3	↗	1.8	神奈川県	50.6	↗	7.3	熊本県	38.6	↗	10.2
広島県	73.5	↗	12.0	岩手県	50.3	↗	4.9	徳島県	35.0	↘	△ 2.9
秋田県	72.6	↗	14.6	千葉県	48.2	↗	4.6	宮崎県	34.1	↗	9.2
山梨県	72.3	↗	7.1	鳥取県	48.0	↘	△ 20.3	岡山県	32.9	↗	3.2
山形県	72.1	↗	1.6	埼玉県	47.8	↗	8.4	鹿児島県	32.6	↗	0.4
東京都	68.2	↗	10.8	滋賀県	44.3	↗	5.2	佐賀県	32.0	↘	△ 1.6
岐阜県	65.7	↗	14.0	福岡県	43.8	↗	6.6	島根県	29.7	↘	△ 9.6
青森県	62.8	↗	6.8	群馬県	43.4	↗	3.8	長崎県	29.4	↗	3.9
京都府	61.4	↗	5.8	大分県	43.1	↗	10.2	高知県	24.1	↘	△ 0.1

増加傾向にある自治体数

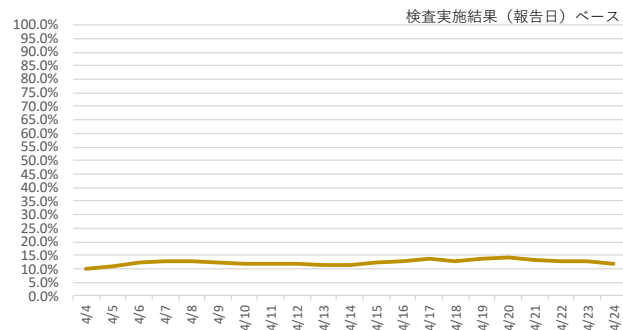
40 / 47

### 3 感染の状況や医療ひっ迫の状況等を評価するための指標

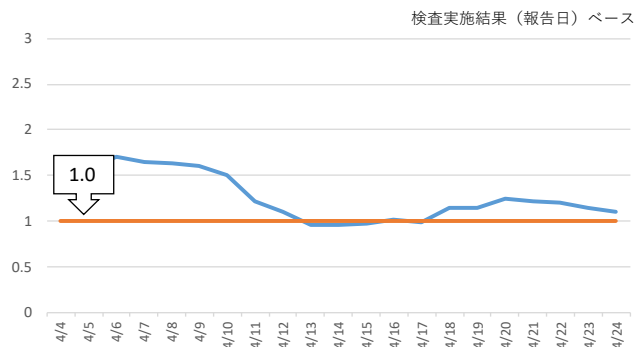
(1) 年齢階層別新規陽性者数（1週間移動平均）（4月5日 から 4月25日まで）



(2) 陽性率（1週間移動平均）（4月4日 から 4月24日まで）



(3) 今週先週比（新規陽性者数）（4月4日 から 4月24日まで）



(4) 主な指標の状況

4月25日時点

指標			岩手県
医療提供体制の負荷	①医療のひっ迫具合	入院医療	6.7% (▲2.8) (31/460床)
		重症者用病床	2.9% (▲0.1) (1/34床)
感染の状況	②陽性率（直近1週間）		11.7% (▲2.0) (617/5276人)
	③新規陽性者数（対人口10万人・直近1週間）		50.3人 (+4.9) (実数617人)

R4.12.26から確保病床数  
435→460に変更

※（ ）は、前週差。また、入院率は療養者数（対人口10万人）が10人以上の場合に適用。

### 岩手県における新レベル分類の運用について

オミクロン株に対応した新レベル分類における、岩手県の判断基準については、以下のとおりとする。

	感染小東期	感染拡大初期	医療負荷増大期	医療機能不全期	
オミクロン株対応の新レベル分類	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	
レベル判断に関する事象	保健医療の負荷の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療・検査医療機関（発熱外来）の患者数が増え、負担が高まり始める</li> <li>・救急外来の受診者数が増加する</li> <li>・病床使用率、医療従事者の欠勤者数が増加する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱外来・救急外来に多くの患者が殺到する。重症化リスクの高い者が受診できない状況が発生</li> <li>・救急搬送困難事例が増える</li> <li>・入院患者が増加し、また医療従事者にも欠勤者が多数発生し、入院医療の負荷が高まる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・膨大な数の感染者に発熱外来や救急外来で対応しきれなくなり、一般外来にも患者が殺到する</li> <li>・救急車を要請されても対応できない状況が発生する。通常医療も含めた外来医療全体がひっ迫し、機能不全の状態</li> <li>・膨大な数の感染者により入院が必要な中等症・重症の患者数の絶対数が著しく増加する</li> <li>・多数の医療従事者の欠勤者発生と相まって、入院医療がひっ迫する</li> <li>・入院できずに自宅療養中・施設内療養中に死亡する者が多数発生する</li> <li>・通常診療を大きく制限せざるを得ない状態</li> </ul>	
	社会経済活動の状況	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場の欠勤者が増加し、業務継続に支障を生じる事業者が増える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場で欠勤者が多数発生し、業務継続が困難になる事業者が多数発生する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場の欠勤者数が膨大になり社会インフラの維持に支障が生じる</li> </ul>
	感染状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染者数は低位で推移しているか、徐々に増加している状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染者数が増え始める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療の負荷を増大させるような数の感染者が発生する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今冬の新型コロナウイルス感染症の想定を超える膨大な数の感染者が発生する</li> </ul>
レベル判断に関する指標	病床使用率：概ね20～30%	病床使用率：概ね30～50%	病床使用率：概ね50%超 重症病床使用率：概ね50%超	病床使用率：概ね80%超 重症病床使用率：概ね80%超	